

PRTR対象化学物質の排出削減に向けた取組事例集の作成・公表について
(お知らせ)

平成17年8月29日(月)
環境省環境保健部環境安全課
課長：上家 和子(内線 6350)
補佐：荒木 真一(内線 6353)
補佐：東 利博(内線 6360)
担当：栄田 智志(内線 6356)

化学物質排出把握管理促進法に基づくPRTR制度は、事業者による化学物質の排出量・移動量の把握によって化学物質管理の自主的取組を促し、化学物質の環境への排出量等の削減を促進させる制度です。

このたび、より積極的なPRTR対象化学物質の排出削減を促進させるため、具体的な対策が実施された事業所の事例を取りまとめ、本事例集を作成しました。

本事例集では、高額なコスト負担を要する対策よりも比較的簡易な取組による対策に重点を置き、特に中小の製造業の事業者が幅広く採用可能な対策技術を中心に取りまとめています。

1. 背景

化学物質排出把握管理促進法に基づくPRTR制度の導入により、化学物質の排出量の増減に対する事業者や市民の関心が高まっていますが、具体的な化学物質削減対策に関する技術情報が不足しているケースが少なくありません。

このたび、事業者によるPRTR対象化学物質の排出削減を促進するため、事業者による排出削減に向けた取組を事例集として取りまとめ、情報の共有化を図ることとしました。

2. 取組事例集の概要

本事例集では、高額なコスト負担を要する対策よりも比較的簡易な取組による対策に重点を置き、特に中小の製造業の事業者が幅広く採用可能な対策技術を中心に取りまとめています。

事業者による排出削減に向けた取組は大きく3つに分類されます。1つは「工程の管理・運用上の改善による取組」、2つ目に「処理装置の設置による取組」、3つ目に「原材料等の転換による取組」です。また、本事例集では、それぞれの事例をこれら3つの分類及びそれぞれの分類の取組が複合的に行われている「複合的な対策による取組」の計4つに分類し、計63種類の事例を掲載しています。

さらに、それぞれの事例毎に「事業所の概要」「対象化学物質」「取組の内容」「今後の展望等」をできる限り具体的に記載しており、特に中小の製造業の事業者の方に利用しやすいよう構成に工夫を加え、利用の目的に応じて参考にしたい事例を探ることができるようにしています。

3 . 取組事例集の入手方法

(1)電子情報（PDF ファイル）の入手

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/others.html> からダウンロードができます。

(2)冊子の入手

希望される事業者の方は、環境省環境保健部環境安全課（合同庁舎 5 号館 25 階）までご連絡下さい。送付させて頂く場合の送料はご負担して頂きます。

（TEL 03-5521-8260 電子メール:ehs@env.go.jp）

< 掲載の一例 >

事例 50 回収装置の採用及び洗浄槽の蓋閉めの徹底

(工程の管理・運用上の改善及び 処理装置の設置)

【事業所の概要】

業種名	非鉄金属製造業
事業所の従業員規模	50～99人
事業内容	アルミ合金製製品（金属線、金属棒、リベット等）、金属加工用素材
製造工程	【製品共通、金属部品加工後の洗浄工程】 アルカリ洗浄 加工油で水分を除去 脱脂洗浄 検査 梱包・出荷

【対象化学物質】

対象化学物質	物質番号	211		
	物質名	トリクロロエチレン		
用途	分類	工業用洗浄剤		
	内容	脱脂洗浄用の洗浄剤		
使用される工程	脱脂洗浄工程（上記洗浄工程の ）			
排出ポイント	使用される工程と同じ			
排出量の算出方法	把握する数量	算出方法	具体的な方法	
	大気への排出量	物質収支	取扱量から廃棄物への移動量を差し引いて算出	
	廃棄物への移動量	実測	廃棄物内の当該物質の濃度を測定	
取扱量・排出量	年度	取扱量 (kg/年)	大気への 排出量(kg/年)	公共用水域への 排出量(kg/年)
	平成13年度	41,000	28,000	0
	平成14年度	35,000	16,000	0
	平成15年度	21,000	8,400	0

【取組の内容】

取組の経緯	作業環境の改善と社会的な状況をみて、社内独自で判断		
取組の内容	取組	取組の内容	
	開閉式の蓋を設置	平成 14 年 8 月頃、洗浄槽に開閉式の蓋を設置して、使用時以外は閉めておくことを徹底	
	回収装置の採用	平成 15 年 4 月に冷却凝縮回収装置を設置して、排出量の 4 割を回収	
	<u>取組に関する情報の入手</u> <ul style="list-style-type: none"> 蓋の設置は自社独自の情報と親会社からの指導 回収装置の設置は廃棄物を委託しているリサイクルメーカーから情報を得て、紹介により購入 <u>他の取組との比較</u> <ul style="list-style-type: none"> 吸着式の回収装置よりもランニングコストが安価 		
取組の選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 開閉式の蓋の設置は作業や対応が簡便だったため 回収装置の設置はメンテナンスが簡便だったため 		
取組に係るコスト	取組	導入コスト	運転コスト
	開閉式の蓋を設置	約 50 万円	-
	回収装置の設置	450 万円 (3 年で償却できる見込み)	電気代 72 万円/年 年 1 回の活性炭フィルタの交換費
取組前後の比較	<u>作業効率等の比較</u> <ul style="list-style-type: none"> 臭いが激減 開閉が面倒だという意見もあるが、使用時以外は必ず閉めるように指導 <u>排出量削減効果</u> <ul style="list-style-type: none"> 取扱量・排出量の削減効果 (図 1 参照) 		

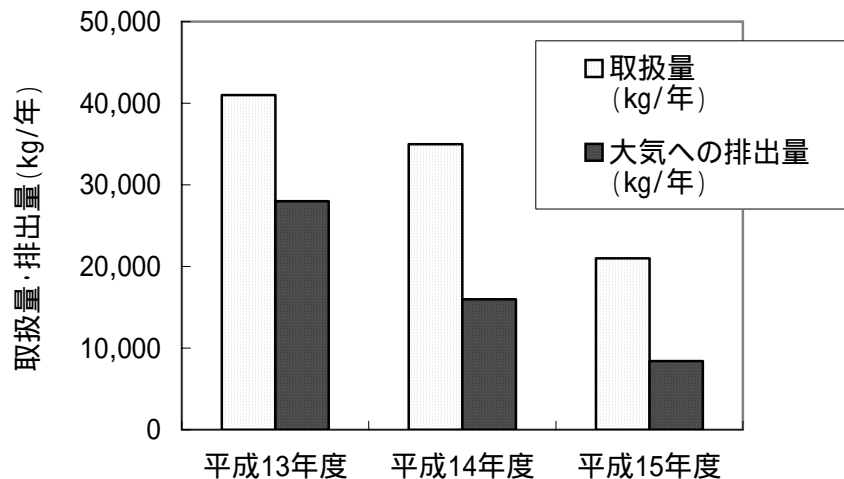


図 1 取組による削減効果

【今後の展望等】

項目	内容
追加的な取組の可能性	代替溶剤を検討中
排出量の削減目標	-
その他の特記事項	-

【備考】

<p>事業所担当者所感</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地球環境保護への対応を常に考えている
--